

春日プラザ（旧つくば市春日庁舎）の利用開始について

このたび筑波大学では、つくば市の旧春日庁舎を本学の活動の情報発信、社会貢献活動、外国人研究者、留学生及びその家族等に対する各種サービス提供の拠点として活用することとし、供用開始しましたのでお知らせいたします。

1 経緯

つくば市から新庁舎建設による施設の移転集約に伴い、平成 22 年 5 月から空き庁舎となる春日庁舎を駐車場等の付属施設とともに一括して本学に対し低料金で長期に貸付したいとの要請を受け、その有効活用方策について検討を行ってまいりました。

つくば駅、つくばセンター地区に近い利便性を最大限活用し、本学の活動の情報発信、社会貢献活動、外国人研究者、留学生及びその家族等に対する各種サービス提供の拠点とするため、実施設計・改修工事を進めるとともに、名称を「春日プラザ」と改め、このたびの利用開始となりました。

2 借用建物の概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | つくば市春日 1-8-3 |
| (2) 敷地 | 5,900 m ² 、駐車場 101 台 |
| (3) 建物概要 | RC 造、4 階建て、延べ 4,031 m ²
倉庫 鉄骨造、1 階建て、延べ面積 221 m ² |
| (4) 借用期間 | 平成 22 年 7 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 約 5 年間 |

3 具体的活用計画

- 4 階 教育研究スペース支援、つくば連携、社会貢献活動対応機能（公開講座等）
- 3 階 分散している大学院組織の集約
- 2 階 病院職員用保育室機能
- 1 階 外国人研究者・留学生支援、教育研究情報発信、大学基金拡充機能

4 利用開始予定

- 4 階 世界遺産専攻研究室、共用会議室、つくば連携スペース（H23. 4 利用開始予定）
- 3 階 世界遺産専攻研究室
- 2 階 保育所（H23. 1 利用開始予定）
- 1 階 日本語教室、交流・展示スペース、基金事業スペース（H23. 4 利用開始予定）